



日米野球に向けて練習する日本チームのメンバー（高松市西部運動センターで）

戦争経験者 と親善野球 日本チームが

高松で初練習

ハワイで12月、戦争を経験したお年寄りが参加する日米親善野球の日本チーム「Over the Rainbowbows（オーバー・ザ・レインボーズ）」の初練習が15日、高松市鬼無町の市西部運動センターで開かれた。

日本チームは宮城、大阪、

大分など12都府県から74

85歳の19人が出場を予定。

この日は、地元ソフトボー

ルチーム「香南しまるス

ポーツクラブ」のメンバー

17人が、キャッチボールや

シートノック、打撃など約

2時間にわたって練習相手

を務めた。

県で唯一参加する同市内

の松本敏行さん（80）は、旧

制中学で野球を始め、17歳

の時に海軍航空隊に入隊、

広島で終戦を迎えた。戦後

は、刑務官として受刑者に

ソフトボールを指導し、現

在も審判員を務めており、

「練習は10年ぶりで、勘を

取り戻すのに時間がかかっ

た。勝ち負けにこだわらず、

思い切ってプレーしたい」

と話していた。

メンバーは12月17日か

ら20日までハワイに滞在

し、ホノルルやフロリダ

のシニアチームと試合す

る。